

## 【スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを見学！第二弾】

**今**回は見学だけでなく体験も！

2018年1月20日（土）ブラボーグループのチャリティチームで、スペシャルオリンピックス日本・東京（以下SON・東京）の活動を見学してきました。

スポーツプログラム見学第二弾の今回は、SON・東京のご厚意でアスリートと一緒にプログラムを体験させていただくこともできました。

詳細は後述致しますが、ものすごく楽しかったです！



**コ**ミュニティの重要さと指導者とアスリートの素晴らしい関係性 [フィギュアスケート]

冬のスポーツといえば、スキー、スノーボード、カーリング・・・と様々ありますが、今回最初にお伺いさせていただいたプログラムはフィギュアスケートです。

当日は朝8時からの練習だったのですが、15分前には多くのアスリートとそのファミリー、ボランティア等の関係者が集まっていました。

待合室を見渡すとファミリー同士で楽しく談笑している方が多く、とてもアットホームな雰囲気です。知的障害を持つアスリートはもちろん、保護者様にとっても、このようなコミュニティの存在はとても重要だと感じました。

一緒に来ているファミリーの方々もスケートシューズを履いていることに気づき、早速プログラムのコーチをされている方にお話を聞くと、ほとんどの親御さんが一緒にプログラムに参加するとのこと。

そうすることで、アスリートと「できることできないこと」をより共有でき、親子のコミュニケーションを深めるのに一役買うのだそうです。

おかげでスケートが上手になったという方もいらっしゃるの珍しい話ではないらしいです。SOのプログラムはコーチも全てボランティアの方なのですが、フィギュアスケートは著名な指導者やその教え子のフィギュアスケーターが指導をされていました。



そのため、指導は競技能力別にクラスを分け、よりアスリートの能力に合わせた指導が展開されていました。

もちろん、指導を受けるアスリートは真剣そのものですが、何よりもとても楽しそうな姿、転んでもすぐに起き上がってチャレンジする姿がとても印象的でした。

そこには障害の有無は関係なく、お互いに尊重した強い関係を見ることができました。

## 【スペシャルオリンピックスのスポーツプログラムを見学！第二弾】

### SO オリジナルプログラム、楽しい！【フロアホッケー】

午後に訪れたのは八王子市の体育館。

こちらではSOのオリジナルプログラムであるフロアホッケーの練習を体験させていただきました。

フロアホッケーとは前述の通り、SOが開発した競技です。

フェルト製のドーナツ型のパックの穴にモップの柄のようなスティックを差し込み、これを動かしてドリブルをしたり、スティックにひっかけて投げることでパスやシュートができます。パックをゴールに入れて得点数を競います。

着替えを済ませ、最初に渡されたのは、

ヘルメット（ホッケー用の顔も保護できるもの）、手袋、レガース（脛を保護するプレート）です。

そうです。

このフロアホッケーは選手同士の接触が激しく、また、スティックを扱うためこのような「装備」が必要なのです。

そんな装備に少し萎縮しつつ、集合しての自己紹介、準備運動からドリブル、パス、シュートの基礎練習が始まりました。



午前中のフィギュアスケートでも感じましたが、アスリートも保護者もスタッフもSON・東京に関わる方々からの歓迎はとてもあたたかいものでした。

基礎練習ではいつも指導されている方とペアを組みドリブルやパス、シュートを指導していただきました。とてもわかりやすい指導で、初めて体験したにも関わらず、とても楽しくパックを操ってプレーをすることができました。

そして、最後は試合です。

ここで目の当たりにした皆さんのプレーは想像をはるかに超えるものでした。

激しい接触、スティック同士がぶつかる音、スピード感あふれるプレーに圧倒され、練習ではできていたプレーがほとんどできなかったのです。

できない中でも暖かくサポートをいただき、最後まで楽しくプレーをすることができました。



### まとめ

今回私たちも実際に参加させていただくことができたのは、本当に貴重な体験になりました。

見学だけでも感じるのですが、機会があればぜひ皆様もボランティアとして参加してみてください。

※プログラムによって参加できるものとできないものがあります。詳しくはSONのホームページでご確認ください。

SON ホームページ URL >>> <http://www.son.or.jp/>